

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	国道1号（狩場工区） <small>かりばこうく</small>	事業区分	一般国道	事業主体	横浜市						
起終点	自：神奈川県横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町 至：神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町 <small>よこはま ほどがや ほどがや</small> <small>よこはま ほどがや かりば</small>			延長	1.2 km						
事業概要：一般国道1号は、横浜市においては、都心部であるMM21地区と副都心である戸塚駅周辺を連絡する重要な放射幹線道路である。狩場工区は、慢性的な渋滞をきたしている国道1号の渋滞解消並びに沿道環境改善を目的とした拡幅事業である。											
H2年度事業化	S21年度都市計画決定 (S46年度変更)	H2年度用地着手	H7年度工事着手								
全体事業費	126億円	事業進捗率	87%	供用済延長	0 km						
計画交通量	57,100台/日										
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 2.4 (残事業) 34.0	総費用：(残事業)/(事業全体) 11/156億円 (事業費：11/155億円 維持管理費：0/1億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 381/381億円 (走行時間短縮便益：359/359億円 走行費用減少便益：14/14億円 交通事故減少便益：8/8億円)	基準年：平成16年							
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・災害への備え（緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけがある） 他11項目に該当（定量的評価項目除く）											
関係する地方公共団体等の意見											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 MM21地区の事業の進捗や環状2号線の全面開通などにより、国道1号の重要性が高まっている。											
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率も95%に達しており、狩場インター出入口から西側区間約700mについては平成17年度には工事が完成し、部分供用を開始する予定である。											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成15年度から新大橋の架け替え工事にも着手しており、未買収用地についても平成17年度までに買収を終了させて、全線にわたり工事を進めていく予定である。											
施設の構造や工法の変更等 新大橋の架け替え工法については、仮設兼用の鋼管矢板基礎+PCプレキャスト桁橋とすることにより、河川の切り回しが不要となり、コスト縮減を図った。											
対応方針	事業継続										
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。										
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2">凡 例</th></tr> <tr><td>——</td><td>供 用 中</td></tr> <tr><td>▨▨▨▨</td><td>再評価箇所</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>国道1号 狩場工区 L=1.2 km</p> <p>起点 保土ヶ谷町 終点 狩場町</p> <p>至戸塚駅 至横浜駅</p> <p>JR東海道線 保土ヶ谷駅 保土ヶ谷橋交差点</p> <p>狩場IC 首都高速道路 狩場線</p> <p>横浜市</p> </div> </div>					凡 例		——	供 用 中	▨▨▨▨	再評価箇所
凡 例											
——	供 用 中										
▨▨▨▨	再評価箇所										

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。